

21. 子宮がん

○

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし

○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		化学療法	放射線療法		光線力 学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容			
				開腹手術	腹腔鏡下手術(腔式)		体外照射	小線源治療				治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1	女性診療科(婦人科腫瘍)	11	6	状況 ○	×	○	○	○	×	子宮頸部初期がんに対しては妊孕性温存、進行がんに対しては手術、化学療法、放射線療法、化学放射線療法、動注化学療法などの集学的治療を行っている。子宮体がんに対しては、妊孕性温存を希望される患者さんには、十分なICのもとガイドラインに即して行っている。	ア				
				実績 あり	なし	あり	あり	あり	なし		イ	http://			
2	放射線治療科	8	2	状況 ×	×	×	○	○	○		ア	大阪市立大学医学部附属病院放射線治療科 http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/service/14/14.html	掲載なし	掲載なし	掲載なし
				実績 なし	なし	なし	あり	あり	あり		イ	http://			
3				状況							ア	http://			
				実績							イ	http://			
4				状況							ア	http://			
				実績							イ	http://			
5				状況							ア	http://			
				実績							イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 子宮頸がん、子宮体がん 子宮頸がん、子宮体がん
------------------------------------	-------------------------------